

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	さかい保育士総合支援事業				シート番号	014-118
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保運営	課 評価責任者(課長名)
						花田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	令和 1 年度		終了(予定)年度	令和 4 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市さかい保育士就職支援事業補助金交付要綱、堺市さかい保育士修学支援事業補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	待機児童解消や、子どもを安心して育てることができる環境整備のために必要な保育士・保育教諭の確保が喫緊の課題となっている中、指定保育士養成施設の学生等を支援し、卒業後、市内民間保育施設等への就職促進を図るため、令和元年度から事業開始。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内の保育士養成施設の学生で市内民間保育施設等に就職を希望する者や、市内民間保育施設等に就職した新卒者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	保育士不足の解消を図るとともに、保育サービスの供給体制の安定化を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	本市と市内指定保育士養成施設とが連携・協力のもと、市内民間保育施設等における人材確保を推進することを目的とした協定書を締結し、保育士等をめざす学生に対して様々な支援を行う。主な支援内容は次のとおり。 ・修学支援金(2年間を限度に月1万円)の支給 市内指定保育士養成施設の学生で、市内民間保育施設等に就職を希望する者を対象に、3年間の勤務を要件に支給する。 ・就職支援金(上限20万円)の支給 市内指定保育士養成施設の新卒者及び市内に在住する市外の養成施設の新卒者が市内民間保育施設等へ就職した場合、施設を通じて支給する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	千円	0	0	0	0	38,400	31,420	46,000	
11 主な事業費内訳	修学支援金補助金	千円				8,400	3,720	6,000	
	就職支援金補助金	千円				30,000	27,700	40,000	
		千円							
		千円							
	国・府支出金	千円							
	財源内訳								
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円								
その他()	千円								
一般財源	千円					38,400	31,420	46,000	
12 人件費 (b)	千円		0		0	4,050	4,860	4,920	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	42,450	36,280	50,920	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	さかい保育士総合支援事業	シート番号	014-118
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	・修学支援金(2年間を限度に月1万円)の支給 市内指定保育士養成施設の学生で、市内民間保育施設等に就職を希望する者を対象に、3年間の勤務を要件に支給する。 令和元年度は36名に対して支給した。					
		・就職支援金(上限20万円)の支給 市内指定保育士養成施設の新卒者及び市内に在住する市外の養成施設の新卒者が市内民間保育施設等へ就職した場合、施設を通じて支給する。 令和元年度は140名に対して支給し、市内民間保育施設への就職につながっている。					
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	申請者数(支援金支給人数)	人	目標値		220	250
				実績値		176	
				達成率		80%	
				評価		普通	
		算出方法・設定根拠など					
			単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	16		目標値				
実績値							
達成率							
評価							

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	申請者数(支援金支給人数)	人			176
	②	上記①にかかる年間経費	千円			36,280
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			206,136
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	令和元年度に関しては、計176名に対して、就職支援金・修学支援金を支給することができ、目標を概ね達成することができた。令和2年度についても、市内民間保育施設等や指定保育士養成施設と連携することにより、市内民間保育施設等への就職促進を図り、目標を達成できるように事務を進める。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	さかい保育士総合支援事業	シート番号	014-118
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 保育人材の確保のために必要な事業であり、また、待機児解消や受け入れ枠の整備と合わせ、4年間限定の事業としてスタートしたところであり、廃止できない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 保育人材の確保のために必要な事業であり、また、4年間限定の事業としてスタートしたところであり、休止できない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 市内民間保育施設等の保育人材の確保のため、必要な事業であるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 申請等は書類による提出であり、事業実施方法としては、3密を避ける方法となっているため。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 本事業については、既に市内指定保育士養成施設等と連携して実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	令和元年度からの4年間限定の事業でもあり、市内民間保育施設等の保育人材の確保のため、必要な事業であることから、継続した事業の実施が必要である。	